

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	三宅 康仁	学校名	高松市立太田南小学校
実施学年	2年生	教科	算数
单元名	100をこえる数		

《学びを深めたいポイント》

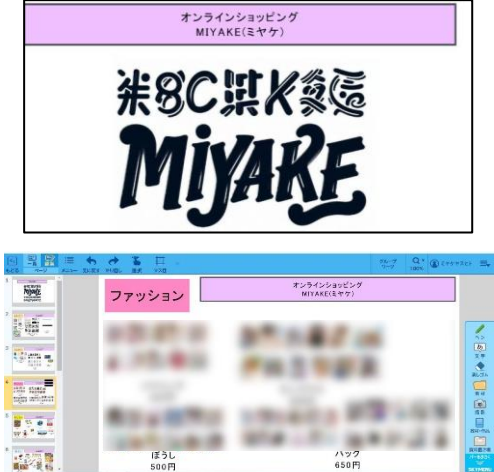

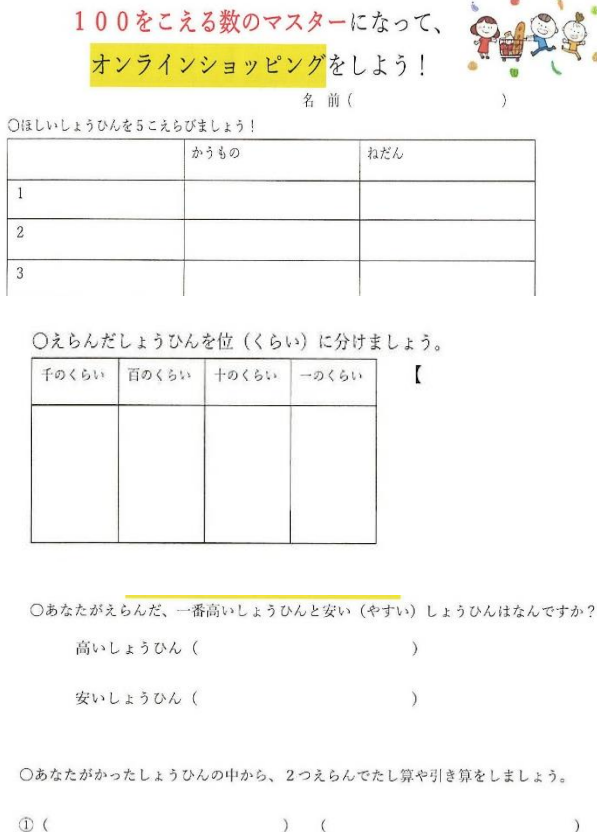
【オンラインショッピング】という学習課題を工夫し、発表ノートを活用して、自分が買いたい商品をタブレット上で3つ選び、ショッピングカートに入れる体験を取り入れることで、楽しみながら、数の概念や数の計算、数の分解などを自然と授業のなかで取り組める工夫を行った。

特に、これまで学んだ数の概念(10が〇こで〇〇〇、134は百が1こ/十が3こ/一が4こ 等)や数の計算に取り組めるワークシートを作成し、授業に取り組んだ。

《SKYMENU 活用のポイント》

- ・児童の主体性を高めるような教材にするための工夫を行う。
(児童の買いたい商品のアンケート結果を反映させた発表ノートを作成。)
- ・自由な進度で進められる環境を設定する。
 - ①導入時に発表ノートを公開し、使い方の説明をした後は、ワークシートの記入を児童に委ねる。
 - ②教師は児童の困り感に常に対応する準備をして、児童を見守る。
- ・授業の活動時間を設定し、タブレット(SkyMenu)・ワークシート・振り返りの時間を事前に分けておく。
オンラインショッピング 10分 ワークシート 25分 振り返り 10分

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	<p>・学習課題について確認する。</p> <p>・自分が欲しい商品を選ぶ。 (最大5つまで)</p>	<p>学習課題を全体で確認した後、具体的な内容として、発表ノートの表紙のスライド【オンラインショップ ミヤケ】を提示する。</p>  <p>【発表ノートの実際の画面キャプチャ】</p>	<p>発表スライドを見せたときの児童の反応を確認し、具体的なイメージとして、実際の商品ページも合わせて見せるとより効果的である。</p> 
展開	<p>・選んだ商品を使って、ワークシートの問題を解く。</p>	<p>ワークシートの問題を確認し、解きやすい値段の商品に変更する場合に限り、発表ノートを見て確認することをOKとする。それ以外は、タブレットを閉じて、問題を解くことに専念する。</p>  <p>【学習で使用したワークシート】</p>	<p>・ワークシートの問題に取り組んでいる児童の巡回指導を繰り返す。その中で、問題に取り組めていない児童や躓いている児童には、ほかの商品でもよいことを伝え、再度商品を選びなおすのもOKにする。</p>

ま と め	・学習の振り返り をする。	<p>本時の振り返りとこれまでの学習の振り返り(単元のまとめ)をワークシートに記入するため、skymenuは活用しない。</p> <p>【児童の振り返り①】</p> <p>100をこえる数をべんきょうしての【ふりかえり】や【かんそう】</p> <p>ともだちときめていちばんたかいしゅう ひんはサンク"ラスいちばんやま うみほんひょうでした。 また"できてないところが"あるから またともだちといしょにかん はってマスターになりたいです。</p> <p>【児童の振り返り②】</p> <p>100をこえる数をべんきょうしての【ふりかえり】や【かんそう】</p> <p>いろいろなものをかたり計算 が"できてうれいな"と思 した。ひき算もたし算もできて べんきょうになったからまた "いっは"いやりたいな"と思 した。</p>	
-------------	------------------	--	--

《実践を振り返って》

今年度の学級では、児童の自己調整力を育てるために、算数の授業に自由進度学習を取り入れた実践に取り組んでいる。

その授業実践を行ううえで、児童の学習状況を把握したり、個に応じた学習を目指したりするためには、ICTの活用は必須だと考え、今回の発表ノートを中心とした skymenu の活用に至った。

本単元において、単元前半では個別にプリントを配布したり、ドリル学習が終わった児童には答えをデータとして配布し、自分で丸付けをしたりするなど、ICTを活用することで、学習効率の向上を図った。

また、本時では、これまで学んだ知識を生かして、どの児童も最後まで粘り強く「100をこえる数」の問題に取り組む姿が見え、児童の主体性を感じることができた。特に、オンラインショッピングというテーマを設定したことで、児童の疑問が生まれ、どんな学習をするのか、自分が学んだことがどのように生かせるのかなど児童の知的好奇心を呼び起こすうえでとてもよい課題設定ができたように思う。

最後に、振り返りの記録から、発表ノートが児童の実態にも合っており、多くの児童にとって、楽しく学ぶことができた単元となったといえる。